学校番号	T3017

令和８年度　学校設定教科

教科	（学）総合	科目	（学）集団活動D	単位数	１単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本講座は、下記を目的とする。
・過去の 3 年間で得られた集団活動の経験を振り返り、成功・失敗要因を分析し、汎用的に活用できる「集団知」として整理・マニュアル化する。（指導力）
・後輩の集団活動を支援・指導する役割を担い、チーム全体の進捗管理や、個々のメンバーの動機付けを行うマネジメント能力を実践的に身につける。（マネジメント能力）

2　学習の到達目標

【知識・技能】
過去の経験知を分析・整理し、後輩に伝わる「集団活動マニュアル」として体系化し、メンタリングの基本的な手法（傾聴、質問、フィードバック）を適切に活用する。
【思考・判断・表現】
後輩の課題を的確に予測し、解決に必要な指導計画を論理的に立案し、指導を通じて得た知見を、マニュアルに具体的に反映し表現する。
【主体的に学習に取り組む態度】
自らの経験を次世代に継承することの意義を理解し、メンター・指導者としての役割を主体的に担い、後輩の成長のために、粘り強くサポートに取り組む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	授業ごとに必要な内容をプリントに記入する。 まとめや考察をプリントに記入する。	事項をまとめる力や表現力を高める。 あたえられた考察に対し、自分の考えを述べ、プリントに記入する。	それぞれの学習内容に対し、意欲的に取り組んでいる。 また、適切な発言を行っている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	縦割り活動1	1 年次生への効果的な接し方、動機付けの方法などを学習する。 メンターとしてのロールプレイング。1 年次生の活動に参加し、自己紹介と目標共有を行う。	a: 集団での自身の役割を理解し、役割を果たす。 b: 他者や集団の課題を発見し、解決するための方法を分かりやすく表現する。 c: チームでの活動が円滑に進むように、役割分担をして、積極的に活動する。	プリントの記述	考察の内容	授業中の態度と発言
	集団活動1	過去の集団活動(1～3 年次)の成功体験、失敗体験をグループで共有。KJ 法などを用い、集団活動における普遍的な課題や解決策を抽出し、実践する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c: 回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
後期	集団活動2	過去の集団活動(1～3 年次)の成功体験、失敗体験をグループで共有。KJ 法などを用い、集団活動における普遍的な課題や解決策を抽出し、実践する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c: 回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
	集団活動3	過去の集団活動(1～3 年次)の成功体験、失敗体験をグループで共有。KJ 法などを用い、集団活動における普遍的な課題や解決策を抽出し、実践する。	a: 必要な情報を正しくに言葉にする。 b: 情報の取捨選択を的確に説明する。 c：回数を重ねるごとに工夫し、必要な情報を見極めたり、適切な伝え方を考える。			
	縦割り活動2	メンタリング経験から得られた知見(「想定外の課題」とその解決策)を反映させ、「集団活動マニュアル」を完成させる。	a: 集団での自身の役割を理解し、役割を果たす。 b: 他者や集団の課題を発見し、解決するための方法を分かりやすく表現する。 c: チームでの活動が円滑に進むように、役割分担をして、積極的に活動する。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度